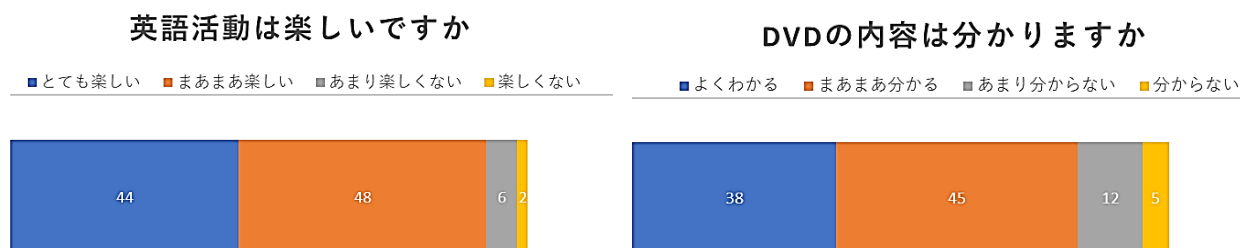


1 成果

(1) 自己評価結果と英語活動での取り組み

4年生以下の児童に英語活動に関するアンケートを行ったところ、「英語活動は楽しいですか」という問いに対して「とても楽しい」「まあまあ楽しい」と回答した児童は全体の92%でした。また、「DVDの内容は分かりますか」の問いに対して「よく分かる」「まあまあ分かる」と回答した児童は全体の83%でした。このことから、本校の児童は楽しみながら英語活動を行っていることが分かります。

【資料1】児童に行った英語活動に関するアンケート結果



また、DVDの視聴で学習した英語表現を外国語活動の授業で生かす実践も行いました。“What fruits do you like?”を学習した1年生の児童は、好きな果物を聞いたり答えたりすることを習得しました。外国語活動の時間にはそれを生かして、自分の好きなフルーツカードを集め、自分だけのフルーツパフェを作ることができました。フォニックスでアルファベットの読み方を学習した4年生の児童は、アルファベットに興味をもちました。そこで、外国語活動の時間にアルファベットを集めたり、並び替えたりするゲームに興じ、アルファベットの表現に慣れ親しむことができました。



(2) 学校関係者評価意見

英語活動に関する保護者の声として「兄弟で楽しそうにじゃんけんをしたり、“How are you?”と二人で会話をしたりして楽しそうです」「英語活動がとても楽しいと子供が話してくれます」など、好意的な意見をいただいています。

2 まとめ

英語活動で、自ら進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するには、「自分の思いが英語で伝わった」「相手が話す英語が分かった」などの経験が必要であると考えます。DVDの中でネイティブスピーカーが身近で具体的な事柄を取り上げ、視聴する児童に語りかけるので、児童と一緒に声を出したり、体を動かしたりし楽しみながら参加することができています。毎日10分の英語活動により、児童にとって英語がより身近なものになっています。